

科目分類	一般教養科目 語学・情報			開講時期	2年 前期	
授業科目	中国語 I					
選択／必修	選択	単位数 (時間数)	2単位	60時間	授業形態	演習
担当教員	村田 浩					
メールアドレス	relio@gk2.so-net.ne.jp	オフィスアワー	授業前後に対応			

授業目的	「ピンイン」の学習と活用によって中国語の発音を習得する。その上で中国語の基礎的な語彙と文法を学び、聞き、話し、読み、書く能力の基礎を完成させる。加えて、中国の様々な話題に触れることで「知る」ことを重視する。
授業概要	初めて学ぶ言葉の場合、発音のマスターはとても重要である。理屈以前に耳と口でおぼえなければならない。そのため、中国語では「ピンイン」と呼ばれるローマ字発音記号の習得を徹底する。また、文法学習はもちろんのこと、日本とはやや異なる「簡体字」と呼ばれる漢字の学習にも重点が置かれる。
授業内容	<p>※週2コマ連結授業のため、半期で計30回</p> <p>第1回 導入</p> <p>第2・3回 第1課:発音1</p> <p>第4・5回 第2課:発音2</p> <p>第6・7回 第3課:発音3</p> <p>第8・9回 発音篇:発展練習</p> <p>第10回 発音篇まとめ</p> <p>第11・12回 第4課:人称代名詞、動詞述語文、疑問文の作り方 etc.</p> <p>第13・14回 第5課:形容詞述語文、主述述語文、反復疑問文 etc.</p> <p>第15回 4・5課の復習</p> <p>第16・17回 第6課:指示代名詞、疑問詞疑問文、動詞“有”、名詞述語文etc.</p> <p>第18・19回 第7課:“的”とその省略、数量詞、存在の表現 etc.</p> <p>第20回 6・7課の復習</p> <p>第21・22回 第8課:変化の“了”、時刻、願望・義務を表す助動詞 etc.</p> <p>第23・24回 第9課:連動文、動詞の重ね型、「できる」の助動詞、二重目的語 etc.</p> <p>第25回 8・9課の復習</p> <p>第26・27回 第10課:前期のまとめ + 介詞、数の表現</p> <p>第28回 学習項目の活用</p> <p>第29・30回 総復習</p>
教科書 参考書等	小池一郎、名和又介他『新訂 開門！中国語』朝日出版社 中国語辞書の携帯を推奨。電子辞書でも可。
成績評価 基準・方法	原則として平常評価（小テスト、発表）約50%、期末試験約50%で評価する。 文法知識のみならず、発音能力と積極性を重視する。
履修要件	週に2回ある授業を両方受講せねばならない。
留意事項 その他	ローマ字を利用した発音記号「ピンイン」を徹底的に習得せねばならないと覚悟すること。 大きな声を出して発音練習をする必要があることも、あらかじめ覚悟しておくこと。 授業への積極的な参加が求められるので、やる気がないと続けられない。